

リバイバル、残りの者(レムナント)、再臨
2008年1月30日 アシェル・イントレーター

終わりの時の、聖書的な私たちの優先順位は、これら3つの言葉に集約されます。リバイバル、残りの者(レムナント)、そして再臨です。「リバイバル」という言葉にこそ、世界中に聖霊の大いなる注ぎがもたらされることを意味するのです。

使徒 2:17 (ヨエル 2:28) 神は言われる。終わりの日に、わたしの霊をすべての人に注ぐ。

「残りの者(レムナント)」という言葉にこそ、イスラエル国家にイエシュア(イエス)を信じるメシアニック・ジューの共同体が回復されることを意味するのです。

ヨエル 2:32 シオンの山、エルサレムに、のがれる者があるからだ。その生き残った者のうち、主が呼ばれる者がいる。

ローマ 11:5 それと同じように、今も、恵みの選びによって残された者がいます。

第1世紀のリバイバルは、イスラエルの残りの者(レムナント)の間でのみ起こりました。最後の世紀のリバイバルはイスラエルと全世界両方で起こります。終わりの時の油注ぎは、紀元33年のペントコステから始まったリバイバルを締めくくるものとなるでしょう。

「再臨」という言葉にこそ、イエシュアの二度目の降臨を意味するのです。最初の降臨の後に、最初のペントコステが起こりました。すなわち、二度目のペントコステは、二度目の降臨の直前に起こるのです。

使徒 2:20 主の大いなる輝かしい日が来る前に。

世界的なリバイバルはイスラエルにいるメシアニック・ジューの残りの者(レムナント)と必然的に結びついています。なぜでしょうか。再臨の時、イエシュアはエルサレムに戻ってくるからです。

「リバイバル、残りの者(レムナント)、再臨」のパターンは、使徒1章と2章に見られます。

使徒 1:6,8 「主よ。今こそ、イスラエルのために国を再興してくださるのですか。」(中略)「しかし、聖霊があなたがたの上に臨まれるとき、あなたがたは力を受けます。そして、エルサレム、ユダヤとサマリヤの全土、および地の果てにまで、わたしの証人となります。」

大宣教命令においてイエシュアが命じたことを、もし私たちが行うならば、大いなるリバイバルが結果となります。リバイバルはイスラエルにいるメシアニック・ジューの残りの者(レムナント)とつながっています。イスラエルの政治が回復するだけでなく、霊的な王国として回復されるのです。その霊的な王国は、イスラエルにいるメシアニック・ジューの信者たちから起こるのです。

大宣教命令(使徒 1 章 8 節)と、イスラエルの回復(6 節)は、再臨(11 節)に連なるのです。

使徒 1:11 「あなたがたを離れて天に上げられたこのイエスは、天に上って行かれるのをあなたがたが見たときと同じ有様で、またおいでになります。」

イエシュアはオリブ山から天に上られました。主は天からオリブ山へ降りて来られます。(ゼカリヤ 14:4) 主の最初の降臨時に、十字架にかかった同じ街に、主は再臨の際に王となられるのです。

「リバイバル、残りの者(レムナント)、再臨」のつながりは黙示録にも見られます。全世界の油注ぎと収穫は以下のように述べられています。

黙示録 7:9 あらゆる国民、部族、民族、国語のうちから、だれにも数えきれぬほどの大勢の群衆が…。

メシアニックの残りの者(レムナント)については:

黙示録 7:4 印を押された人々の数を聞くと、イスラエルの子孫のあらゆる部族の者が印を押されていて、十四万四千人であった。

大群衆と封印された残りの者(レムナント)たちは結果的に再臨を促すのです。

黙示録 19:11 また、私は開かれた天を見た。見よ。白い馬がいる。それに乗ったお方は…

「リバイバル、残りの者(レムナント)、再臨」パターンは聖書の多くの箇所に見ることができます。ローマ 11 章、エペソ 2 章、イザヤ 40-66 章、エステル書、ルツ書など、これはメシアの王国におけるイスラエルと教会に対する神のご計画の概略なのです。

これはまた、再臨への「二重の前提条件」と私たちは呼びます。神の御国の福音は、終わりが来る前に全世界に述べ伝えなければなりません。(マタイ 24:14)そして、エルサレムにいるユダヤ人が「主の御名によって来られる方に、祝福あれ。」(マタイ 23:39)と叫んで主を受け入れなければ、イエシュアの再臨を見ることはできないのです。

この聖書的なパターンは、単に正しい解釈の問題だけではなく、主の働きに関わる活動の実践的な戦略であるのです。これは神学のみの問題ではなく、これは私たちの方法論なのです。一方において、ここイスラエルで、私たちは福音を分かち合い、弟子たちを作り、コングリゲーションを設立するのです。また他方において、国々のために祈り、教会を整え、世界中に神の御国の使節としてイスラエル人信者を送り出すのです。(イザヤ 2:2-4、42:6、49:6)

何年もの間、私たちメシアニック・ジューは、世界的リバイバルの問題抜きに「残りの者(レムナント)」メッセージだけを教えてきました。多くの霊に満たされたクリスチャンは世界「リバイバル」の幻を持っていますが、イスラエルの残りの者(レムナント)の重要性については持っていませんでした。しかし、この二つがイエシュアの再臨によって互いに結合するのです。

主はもはや、「預言的、使徒的」クリスチャンがイスラエルのメシアニック・ジューの残りの者(レムナント)を「無視」することをお許しにならないと思います。また、メシアニック・ジューの共同体が世界的リバイバルに対する責務を回避することもお許しにならないと思います。主は私たち(訳注: 全世界のクリスチャンとメシアニック・ジュー)を互いに、この地上に設立される御子の王国の栄光に接ぎ木するのです。(ゼカリヤ 14:9、エペソ 1:10)